

極微量物質研究会（UTA 研）セミナー開催報告

UTA 研 企画運営ワーキンググループ

1. はじめに

日環協の数ある委員会の中に極微量物質研究会（Research Group on Ultra Trace Analyses, 通称：UTA 研）があるのをご存じでしょうか。UTA 研は、平成 15 年 7 月、ダイオキシン類分析の MLAP 認定特定計量証明事業者（MLAP 機関）が集まり、技術研鑽を行っていた任意団体「ダイオキシン研究会」が発展的に解散し、日環協の中で新たに研究会として発足したのが起源です。現在、67 機関の会員とその約 2 割から成る委員によるワーキンググループで運営されており、ダイオキシン類、PCB、POPs 等の残留性化学物質の測定分析技術の向上、試験方法の改善等の事業を実施しています。

2. UTA 研セミナー開催

UTA 研の主な活動の 1 つに年に 2 回、定期的で開催しているセミナーがあります。セミナーでは、関連企業、研究機関、関係省庁から講師の方をお招きし、勉強会や講演を実施することで、技術の向上と知識の共有を図り、UTA 研全体のレベルアップを目指しています。2016 年度 第 1 回のセミナーは 7 月 8 日に「タワーホール船堀（江戸川区）」で開催し、73 名の方の参加がありました。



セミナー受付

2.1 プログラム

今回は、参加者の知識向上や若手技術者の教育や世代交代に伴う技術伝承に役立ててもらうために、UTA 研会員以外の日環協会員及び一般参加も可能

とし、以下のようなプログラム内容で開催しました。

<プログラム>

1. 委員長あいさつ
2. UTA 研、各委員による活動報告
3. 第 25 回環境化学討論会（新潟）のトピックス紹介
 - ①POPs 分析における夾雑成分の分離検討
東北緑化環境保全株式会社
豊田 邦孝 氏
 - ②POPs モニタリングにおける環境大気試料分析方法の検討
株式会社島津テクノリサーチ
岡田 淳 氏
 - ③金属修飾アルミナを用いた底質中 PCB の迅速分析法
三浦工業株式会社
高橋 知史 氏
4. ダイオキシン分析基礎講座（第 3 弾）
 - ①前処理について
いであ株式会社
高橋 厚 氏
 - ②測定分析と精度管理について
三浦工業株式会社
松田 壮一 氏
5. フリートーク
6. 交流会



濱田委員長による挨拶

2.2 トピックスおよび講座

2016年6月8~10日に新潟で開催された第25回環境化学討論会のトピックス紹介では、討論会で発表者された方の中からの POPs や PCB 分析に関連深い内容の方をお招きし、再度発表いただきました。

また、ダイオキシン分析基礎講座は数年毎に実施しており、今回が3回目です。「前処理について」では、試薬・器具・標準品の管理方法、前処理における注意点、妨害・コンタミについて等、「測定分析と精度管理について」では、再分析が必要な分析事例、GC/MS 測定におけるトラブル事例、精度管理方法について等、実際に担当者が直面している事例を交えて分かり易く説明いただきました。

2.3 フリートーク

セミナーの中でも特に、毎回参加者から好評なのがフリートークです。ここでは、参加者と委員が交えてダイオキシン類、PCB、POPs 等の前処理、測定、精度管理など、1テーマ、10~15名程度に分れ、約90分の意見交換が行われます。今回の参加者は業務経験2~3年程度の方が多く、社内では共有できない業務上の日頃の悩み相談や経験豊富な委員への質問等、活発な質疑応答が行われました。ここで得られた情報が今後の業務に役立てられている状況が伺えます。



フリートーク

2.4 交流会

交流会は、参加者同士の更なる情報交換の場として活用いただいています。今回は参加者の方々にセミナーの感想などについて、お伺いしてみました。

<環境保全株式会社：白井俊一郎様、斎藤建之様>

白井様「斎藤さんにダイオキシン業務を引継ぐために今回のセミナーを活用しました。」 斎藤様「初参加でしたが、フリートークでは話し易かったです。」



斎藤様（左）白井様

<東芝環境ソリューション株式会社：鈴木真実様、常盤開発株式会社：大森敦子様>

鈴木様「ダイオキシン業務の経験は丸2年です。今日のセミナーは、ダイオキシン分析基礎講座が良かったです。」 大森様「初参加です。今日は自分でつまづいている所が解決できて良かったです。」



鈴木様（左）大森様

3. 最後に

次回のセミナーは、2017年1月27日（金）に今回と同じく「タワーホール船堀」で開催されます。参加いただく皆さんにとって役立つプログラム内容といたしますので、まだ、参加したことのない方、1人での参加に躊躇している方、一度参加してみませんか。